

# 夢や目標をもって学び続ける児童の育成

## 目標を決めてチャレンジする子

本校は、学校教育目標として、「夢や目標をもって学び続ける心豊かでたくましい児童の育成」を掲げて取り組んでいます。

特に本年度は、「目標を決めてチャレンジする子」を育てたいとの強い思いで指導しています。子どもたちには、機会あるごとに、目標をもって取り組むこと、チャレンジすることの大切さを、繰り返し繰り返し、具体的な事例を通して話をするようにしています。

サッカーや陸上競技などの一流選手（トップアスリート）を招いた特別授業——「夢・チャレンジ」プロジェクトも、こうした教育方針の一環として、本年度取り組んでいます。

少し話は変わりますが、本校では以前から、児童会が中心となり、プルトップやエコキャップ、アルミ缶の回収

を続けています。こうしたボランティア活動を通じて、環境や福祉などについて、子どもたちが学習する機会と

しています。保護者や地域の皆様にも回収にご協力をお願いしており、この場をお借りして厚く感謝申し上げます。

毎朝、学校前の横断歩道の所で、子どもたちが登校してくるのを迎ええていると、ビニール袋やペットボトルなどに入れて、プルトップやエコキャップを持つくる子どもたちの姿を目にします。少ない児童数ではありますが、こうした取組が途絶えずに地道に続いていくのが、遠阪小学校、そして遠阪地域の良さだといつも思っています。

児童会が取り組んでいるということで、私も、昨年度着任した時から、プルトップやエコキャップをできるだけ集めようという心がけ、子どもたちと

一緒に取り組んでいます。

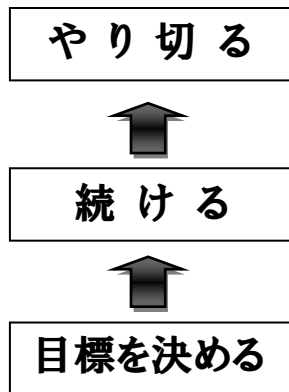
そして、この活動そのものの目的や意義とともに、プルトップやエコキャップを集める取組を題材にして、目標を持つて取り組むこと、粘り強く続けることの大切さなどについても、子どもたちに話をしていきます。



▶ 月に一度の「校長講話」

## 「目標」は実現するためにある

「目標は、実現するためにあります。単に掲げているだけのものは、目標ではありません。子どもたちに小学校の段階から、具体的な目標を決めて、計画を立てコツコツと取り組み、決めた目標を実現するという経験を積み重ねさせ、習慣化させ、目標実現のためのプロセスを身に付けさせたいと願う指導を続けています。



### 目標を決める

何事に対しても、まず目標を立てること、できるだけ具体的な目標を決めることを指導しています。例えば学習面で言えば、自主学習を今週は毎日2ページする。今月は読みたい図書を5冊読み切る、などです。どんなことをいつまでにやるか——より具体的な内容や期限を決めることで、取り組むことがはっきりとします。また、取り組んだ結果できたかどうかの振り返りもはつきりとしています。

ぼんやりとした曖昧な目標ではなく、取組の結果がどうだったか自分ではつきりと振り返れる目標を立てることを指導しています。

### 続ける、そして、やり切る

具体的な目標を決めたら、その目標の実現に向けて、取組を粘り強く、とにかく続けることを指導しています。継続は力なりです。そして・・・途中であきらめたりやめてしまったりせずに、最後までやり切るよう指導しています。

どんなことでも、自分で「最後までやり切った」と思える、達成感を伴う経験を積み重ねることが、自信につながり、実力となっていきます。

### 夏休み、そして、2学期に向けて・・・

以上のことを小学生なりに理解して、取り組む子が増えていけば嬉しいと思っています。

夏休み中、自分が立てた目標に対して、どれだけ取り組めたか——2学期になって子どもたちから話を聞くのが楽しみです。コツコツとチャレンジしたこと、新しいことにチャレンジしたことなど・・・。

2学期が始まれば、「目標を決めてチャレンジする子」を育てる指導を一層進めていきたいと考えています